

## 黙示録 21:1-8

2022年7月31日／鯖江教会

### 終末に向かう信徒らの備え

私は見た、「新しい天」と「新しい地」を。

「第一の天」と「第一の地」は行ったから。もはや、海もない。

私ヨハネは見た、

「天」から出て、神から降ってくる「聖なる都市」「新しいエルサレム」を。

その男（花婿）のために着飾った花嫁のように。

私は、天からの大きな声を聞いた。

「見よ、人々と共に張った、人々と共にある『神の天幕』を。

彼らは『神の民』となり、

『神ご自身』が彼らと共にあって、彼らの『神』となる。

神が彼らの目から涙を拭い去る。

もはや、『死』もない。嘆きもなく、叫びもない。もはや、労働もない。

第一が行ったから（である）。」

着座する者が言った。「見よ。私は全てを新たに為す。」

また、私に語った。「書け。（これらの）言葉は真実で信頼できるから。」

また、私に語った。

「成就した。

私はAであり、Ωである。初めであり、終わりである。

私は、渇く者らに、生命の水の泉から、無償で与える。

『勝利者』は全てを相続する。私は彼の『神』となり、彼は私の子となる。

しかし、

『臆病で、不忠実で、嫌悪すべきで、人を殺す、性的不品行な、

魔術を使う、偶像崇拝者ら』には、

さらに『嘘をつく者らの全て』には、

彼らの肢体は、『火と硫黄で燃える池』の中にある。

『第二の死』である。」